

平成 29(2017)年4月12日配信
[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
広報担当:松本、長野
TEL:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366
E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp

報道関係者各位

ロームシアター京都×京都市文化会館 5 館連携事業
地域の課題を考えるプラットフォーム

まちの見方を 180 度変えるローカルメディアづくり
～CIRCULATION KYOTO
(サーキュレーション キョウト) ～



2017 年 4 月 29 日 (土・祝) ～2018 年 3 月中旬
於：ロームシアター京都および各京都市文化会館

始動！
地域に潜む課題と魅力を発見し、ユニークなアイデアで
新たな“ローカルメディア”をつくる！

＜企画概要・趣旨＞

ロームシアター京都では、京都市文化会館 5 館との連携事業として、「まちの見方を 180 度変えるローカルメディアづくり～CIRCULATION KYOTO（サーキュレーションキョウト）～」を開催します。

参加クリエイター×一般参加者の協働で、 5 地域をつなぐローカルメディアを構想・制作

インターネットでどこでも世界中の情報が瞬時に得られる現代において、むしろ限定された地域でしか得られない情報やコンテンツに価値が生まれ、地域住民が地域の新たな魅力に気づいたり、外部の人が地域を訪れ新たな人と人のつながりを生み出すなど、その効果や役割に益々注目が集まるローカルメディア。

今回のプロジェクトでは、全国各地で発行されるフリーペーパー、本、雑誌の作り手を取材した「ローカルメディアのつくりかた」（学芸出版社、2016 年）を昨年上梓した編集者の影山裕樹を本プロジェクトのディレクターに迎え、公募で選ばれた一般参加者たちが京都市文化会館 5 館の位置する山科区、伏見区、西京区、北区、右京区 5 地域のエリアに分かれ、フィールドワーク、ワークショップを実施。各地域に根づく文化や歴史、地域の課題や魅力を見つめ直し、新たな“京都ローカル”を探りながら、それを発信・表現する魅力的で挑戦的な「メディア」を構想・制作します。

「ローカル」と「メディア」を問い直す

プロジェクト・ディレクターの影山裕樹は、「ローカルメディア」の定義を「異なるコミュニティ（人や情報、モノ）をつなげる手段」と広げて設定します。本プロジェクトでは、ローカルメディアの形態として多いフリーペーパーや地図、冊子等の紙媒体のみに発想を限定させず、WEB やラジオ、TV、あるいは地域の回覧板や掲示板をもローカルメディアの視点で捉え直し、改めて現代社会で機能し得る「メディア」自体を考察、問い直します。

「劇場」が生まれたと言われる古代ギリシャの時代、劇場は政治や地域の事件＝悲喜劇を都市の住民が共有し、議論するメディアとして機能していたといえます。では多様化したメディア環境におかれる現代において、劇場はどんなメディア足りえるのでしょうか？本プロジェクトを通じて、劇場が果たす役割や機能も改めて照射されることになるでしょう。

ロームシアター京都が仕掛ける「ローカル」と「メディア」を問い直す新プロジェクト、ぜひご注目ください。

【特設サイト】

<http://www.circulation-kyoto.com/>

<スケジュール詳細>

【2017年4月】

キックオフトークイベント

「新たな京都を発見するローカルメディアのかたち」（一般公開）

日時 | 2017年4月29日（土）14:00～16:00

会場 | ロームシアター京都 パークプラザ 3F 共通ロビー

入場無料、予約不要

「CIRCULATION KYOTO（サーキュレーション キョウト）」のキックオフイベントとして、参加クリエイターによる、無料公開トークイベントを実施。ローカルメディアの最新事例や登壇者の地域の見方、リサーチ方法などを紹介しながら、地域の新たな姿を見つけるローカルメディアの可能性についてお話しします。また、プロジェクトの概要も合わせて紹介します。

出演 | 影山裕樹（編集者／千十一編集室）、加藤賢策（アートディレクター／ラボラトリーズ）、上條桂子（編集者）、榊原充大（都市建築等リサーチ／RAD）

【2017年6月～8月】

ローカルメディアづくりワークショップ

（全5回／要参加申込、京都市内各所）

4/14(金)参加者募集開始！

5/26(金)必着メ切！

詳細は特設WEBサイトをご確認ください。

① オリエンテーション&レクチャー&インタビュー

「新たな“移動”を促すローカルメディアのかたちとは」

会場 | 京都市東部文化会館⇒京都市北文化会館⇒京都市呉竹文化センター

日時 | 2017年6月17日（土）10:00～12:30／14:00～18:00

講師 | 影山裕樹、上條桂子、榊原充大ほか

地域における情報発信のあり方や「人と人をつなぐ」メディアのあり方をレクチャーします。午後には2つの文化会館を訪問し、地域のキーパーソンに地域の特徴などを紹介していただきます。

② ブレーンストーミング&インタビュー&フィールドワーク

「地域の課題と宝物を見つけるリサーチ」

会場 | 京都市右京ふれあい文化会館⇒京都市西文化会館ウエスティ

日時 | 7月8日（土）10:00～12:30／14:00～18:00

講師 | 影山裕樹、榊原充大ほか

午前中は、講師により京都市右京ふれあい文化会館を会場に、地域の課題と宝物を掘り起こすワークショップを開催します。午後は、京都市西文化会館ウエスティに移動し、第一回同様に地域の紹介をしてもらい、5館の地域への理解を深めます。最後にエリアごとの担当を決め、チームごとに担当館へと移動、各館のコーディネーターと共にフィールドワークおよび今後のリサーチプランを立てます。

③ レクチャー＆ディスカッション

「地域に入り込む取材・交渉・デザイン」

会場 | ロームシアター京都⇒各文化会館

日時 | 7月22日(土) 10:00～12:00 / 13:30～17:00

講師 | 影山裕樹、加藤賢策、上條桂子ほか

前半はデザイン・取材・ライティングの講座を行います。午後は担当館へと移動、フィールドワークの成果共有およびプレゼンに向けた議論を深めます。

④ ディスカッション＆公開講座

「地域の課題と魅力を可視化する企画力」

会場 | ロームシアター京都⇒各文化会館

日時 | 8月5日(土) 10:00～12:00 / 13:30～17:00

講師 | 影山裕樹、加藤賢策、上條桂子、榊原充大ほか

前半は、翌日に控えたプレゼンテーションに向けた資料作りおよびリハーサルを行います。午後には、「地域の課題と魅力を可視化する企画力」について、特別ゲストを招いての公開講座を開催します。

⑤ プレゼンテーション＆ディスカッション

「新たな“移動”を促すローカルメディアのかたちとは」(一般公開)

会場 | 未定

日時 | 8月6日(日) 13:00～17:00

講師 | 影山裕樹、加藤賢策、上條桂子、榊原充大

チームごとに資料を作成し、それぞれのチームが考えるローカルメディアの一般公開プレゼンテーションを実施。それらの発表を受けて、講師を交えたディスカッションを行います。

【2017年8月～2018年3月】

ローカルメディアづくり

日時 | 8月中旬～2018年3月

講座を経て、各館ごとに、これまでの成果のアウトプットとして、任意の参加希望者とともに、ローカルメディアの制作を試みます。

※第5回目の講座の後に、受講者の中から参加希望者を募集します。

【2018年3月】

メディア完成記念トーク(一般公開)

会場 | ロームシアター京都(予定)

日時 | 3月中旬 14:00～17:00

各施設のローカルメディアの発行を記念し、プロジェクトを振り返りながら各メディアを紹介します。後半ではゲストを交え、今後のローカルメディアと文化事業の可能性を考えるシンポジウムを開催します。

<開催概要>

事業名：ロームシアター京都×京都市文化会館 5 館連携事業

地域の課題を考えるプラットフォーム

「まちの見方を 180 度変えるローカルメディアづくり～CIRCULATION

KYOTO（サーキュレーション キョウト）～」

日程：2017 年 4 月 29 日（土・祝）～2018 年 3 月中旬

（内ワークショップは、6 月 17 日／7 月 8 日、22 日／8 月 5 日、6 日の全 5 回）

会場：ロームシアター京都および各京都市文化会館

【主催】公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館）、京都市

【企画製作】ロームシアター京都

【企画協力】千十一編集室

【クレジット】

プロジェクト・ディレクター：影山裕樹（編集者／千十一編集室）

アートディレクター：加藤賢策（アートディレクター／ラボラトリーズ）

エディター：上條桂子（編集者）

リサーチディレクター：榊原充大（都市建築等リサーチ／RAD）

制作：武田知也（ロームシアター京都）

【お問合せ】ロームシアター京都 075-771-6051

【特設サイト】<http://www.circulation-kyoto.com/>

<影山裕樹（かげやま ゆうき /プロジェクト・ディレクター）メッセージ>



CIRCULATION（サーキュレーション）という名前には、山科区、伏見区、西京区、北区、右京区、五区の地域を線でつなぎ、そこから洛中に向かって発信される情報の流れを生み出したい、という意図が込められています。歴史あるまち、地域の人と人のつながりが強い京都だからこそ可能な、ユニークなメディアのあり方がきっとあるはずです。それは、紙やウェブといった従来のメディアのかたちにとらわれる必要はありません。コミュニティラジオ、団地の回覧板……。はたまた、かつて河原や辻など人の集まる公共の場に立て札を立て、匿名で洒落の効いた社会批判を書き込んだ落首（らくしゅ）のように“ローカルメディア”は古くからあらゆるかたちで存在してきた、と考えてもいいかもしれません。

CIRCULATION KYOTO では、“ローカルメディア”をキーワードに京都らしい歴史とローカルティを参照し、参加者が主体となってメディアを制作します。その活動のプロセスそのものが、地域の人と人、人と劇場や文化施設の新たなつながりを育むことでしょう。この目に見えないネットワークを形成することこそ“ローカルメディア”づくりの醍醐味の一つでもあります。

また、ここで生み出されるメディアは、さながら映画や演劇の脚本のような役割を持つかもしれません。登場人物は京都に暮らす人、京都を訪れる人たちです。彼・彼女たちはこのメディアを手に、バスや自転車、地下鉄や自家用車に乗って弧を描くように京都を歩き、これまでに気づかなかった風景やまちの意外な魅力を発見することになるでしょう。

【プロフィール】

編集者、プランニング・エディター。1982 年東京生まれ。早稲田大学第二文学部卒業後、雑誌編集部、出版社勤務を経て独立。アート／カルチャー書のプロデュース、ウェブサイトや広報誌の編集、展覧会やイベントの企画・ディレクションなど幅広く活動している。近年は「フェスティバル／トーキョー」（12、13）「十和田奥入瀬芸術祭」「札幌国際芸術祭 2014」など各地の芸術祭やアートプロジェクトに編集者、ディレクターとして関わる。著書に『大人が作る秘密基地』（DU BOOKS）、『ローカルメディアのつくりかた』（学芸出版社）、共編著に『決定版・ゲームの神様 横井軍平のことば』（スペースシャワーネットワーク）など。2017 年「千十一（せんといち）編集室」をスタート。 <http://yukikageyama.com/>

<参加クリエイター プロフィール>



加藤賢策（かとう けんさく /アートディレクター）

アートディレクター／グラフィックデザイナー。1975 年生まれ。武蔵野美術大学大学院視覚伝達デザインコース修了。2006 年株式会社東京ピストル設立（取締役）。2013 年株式会社ラボラトリーズを設立（代表取締役）。「十和田奥入瀬芸術祭」「国東半島芸術祭」など各地の芸術祭やアートプログラムに関わる。主にアートや建築、思想関連などのグラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、WEB サイトなどを手がける。武蔵野美術大学、女子美術大学非常勤講師。

www.labor-atories.com



上條桂子（かみじょう けいこ／エディター）

編集者、ライター。雑誌でカルチャー、デザイン、アートについて編集執筆、書籍の編集も多く手がける。武蔵野美術大学空間演出デザイン学科非常勤講師。編集を手がけた書籍に、『お直し とか カルストウラ』（横尾香央留著／青幻舎）、『庭園美術館へようこそ』（朝吹真理子、ほしよりこ他／河出書房新社）、『ROVA のフランスカルチャー A to Z』（小柳帝著／アспект）、『Act of Love 求愛行動図鑑』（human research）等。著書にドイツやスイスの木工玩具デザインの歴史をまとめた『玩具とデザイン』（青幻舎）がある。みちのおく芸術祭山形ビエンナーレ 2014 では、イラストレーターの平澤まりことともに市民参加のワークショップ「みちのおくつくるラボ」1 期ブックラボの講師を務め、山形市民とともに『山形をいく REDISCOVER YAMAGATA』の企画編集に携わった。



榎原 充大（さかきばら みつひろ／リサーチディレクター）

建築家、リサーチャー。1984 年愛知県生まれ。2007 年神戸大学文学部人文学科芸術学専修卒業。建築や都市に関する調査・取材・執筆、物件活用提案、ディレクション、アーカイブシステムの構築など、編集を軸にした事業を行う。2008 年には、より多くの人々が日常的に都市や建築へ関わる経路を増やすことをねらいとし、建築リサーチ組織 RAD を共同で開始。寄稿書籍『レム・コールハースは何を変えたのか』（2014）、制作書籍に『LOG/OUT magazine ver.1.1』（2016）。2014 年度から京都精華大学非常勤講師、2016 年度から京都建築大

学校非常勤講師